



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻  
第10号) 編集後記・編集委員・購読  
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻第10号) 編集後記・編集委員・購読要  
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1979, 25(10): 1120-1120

ISSUE DATE:

1979-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122508>

RIGHT:

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 25 巻 第 10 号

1979年10月

ヌードマウスを用いた非ホルモン性抗瘤剤による	
前立腺癌化学療法に関する研究	岡田 謙一郎・ほか 998
家兔尿管粘膜上皮細胞の発生的変化	武藤 浩・ほか 1009
腔トリコモナス虫体内の ICDH, $\alpha$ -KetoDH, LDH, MDH, SDH, aldolase, Alc DH の染色による証明 (英文)	河村 信夫・ほか 1015
矯正施設収容者における腔トリコモナスの感染頻度と不顕性感染持続期間について: 特に1000日以上長期感染例について (英文)	河村 信夫・ほか 1023
複雑性尿路感染症に対する長期化学療法の検討	村上 信乃・ほか 1027
人工透析に関する臨床的研究 (第1報)	
透析初期症例の Ca, Pi の変動について	細川 進一・ほか 1033
耳鏡を用いた尿道末梢部の観察	友吉 唯夫・ほか 1039
放射線治療後22年目に血尿をみた甲状腺癌の腎転移例	岡田 裕作・ほか 1043
Regional Renal Hypothermia による腎部分切除術後にみられた無尿	増田 富士男・ほか 1049
"Dysplastic Inverted Papilloma" の1例—その臨床的対処について—	永井 信夫・ほか 1055
女子傍尿道腫瘍の1例	浦田 英男・ほか 1061
京都市立病院泌尿器科入院患者臨床統計 (1967年4月~1979年3月)	上山 秀麿・ほか 1069
二重盲検法による TSAA-291 の前立腺肥大症に対する臨床効果の検討	吉田 修・ほか 1077
尿路感染症に対する Cefradine の検討	村田 庄平 1109
八味地黄丸の使用経験	徳中 莊平・ほか 1113
八味地黄丸の使用経験	岩田 英信・ほか 1115

Experimental Study on Non-Hormonal Chemotherapy for Carcinoma of the Prostate in Nude Mice	K. Okada et al. 993
Developmental Processes of the Epithelium in the Ureter of Rabbits	H. Muto et al. 1009
Proof of Existence by Staining of ICDH, SDH, MDH, LDH, ALDolase, Alc DH and $\alpha$ -Keto-DH in Trichomonas Vaginalis	N. Kawamura et al. 1015
The Incidence of Trichomonas Vaginalis Infections and the Length of Asymptomatic Infections among Male Prisoners in a Reformatory —with Special Reference to a Case Report on a Patient with Infection Persisting for More than One Thousand Days	N. Kawamura et al. 1023
Long-Term Chemotherapy in Prophylaxis of Complicated Intractable Urinary Tract Infections	S. Murakami et al. 1027
Clinical Studies on Hemodialysis. The First Report: Movement of Serum Calcium, Serum Phosphate in Initial Stage of Hemodialysis	S. Hosokawa et al. 1033
Simple Distal Urethroscopy Using an Otoscope	T. Tomoyoshi et al. 1039
Unilateral and Solitary Renal Metastasis from Well-Differentiated Thyroid Carcinoma Initially Treated 22 Years Before: A Case Report	Y. Okada et al. 1043
Anuria after Partial Nephrectomy Using Regional Renal Hypothermia and Ischemia	F. Masuda et al. 1049
Clinical Countermeasure for "Dysplastic Inverted Papilloma": Report of a Case	N. Nagai et al. 1055
Paraurethral Tumor in Female: Report of a Case	H. Urata et al. 1061
Clinical Statistics on Inpatients and Operations at the Urological Division of Kyoto City Hospital During 1967 to 1979	H. Uyeyama et al. 1069
Clinical Evaluation of TSAA-291 in Treatment of Benign Prostatic Hyperplasia by Double Blind Study	O. Yoshida et al. 1077
Clinical Effect of Cefradine for Genito-Urinary Infection	S. Murata et al. 109
Clinical Studies of Tsumura-Hachimijogan	S. Tokunaka et al. 113
The Clinical Experience of Tsumura-Hachimijogan	H. Iwata et al. 115

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

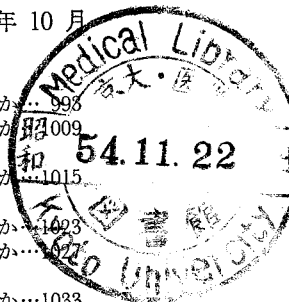
Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606.

京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol.



到着後1ヶ月間

## 編 集 後 記

本誌の編集に携わるようになって1年半、もう少し早く本誌の発行が正常化されるだろうと考えていたが少し甘かった。何しろ相手のあることである。私の努力だけではどうにもならない。その大きな相手は選挙である。統一地方選挙、衆議院選挙と2回もあった。一番の大きな痛手は年末の郵便ストだ。多くの人々の努力の結晶のゲラが郵便局で1ヵ月半も積んだままで放置されているのだからイヤになる。これでは革新嫌いになるのも仕方あるまい。それと年度末と年末、とにかく定期刊行物の発行を妨げる敵がこんな大勢いるとは想像もしなかった。しかしまあどうにかこうにか月末には発行される見通しがついてきた。この間ふりかえってみると私としてはとても大きなものを犠牲にしたように思えてくる。しかしそれよりも投稿諸氏に大変大きな迷惑をかけてきたようにも思う。当初はひどい論文が多かった。下書きのような原稿を書き直したこともある。また書き直しをお願いしたこともある。不愉快な思いをされた方も多いと思う。この点は紙上よりお詫びします。

最近では原稿も多く、いずれもきれいに清書されている。本当にありがたい。これにこりずに今後とも本誌を愛読され、レベルの高い論文の投稿を待っています。(T.K.)

## 編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 菅 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

## 購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円(送料とも)前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR など、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第25巻 第10号 1979年10月25日 印刷 1979年10月31日 発行

創刊 稲 田 務 顧問 加 藤 篤 二 定価 500円(送料別)

発行 吉 田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)  
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

### 編集部よりのお願い

従来より本誌掲載の図・表については、初校印刷後、原則として校正ができないことになっていました。しかしながら、なるべく正確を期すという方針から、可能なかぎり投稿者の便宜を計ってきました。今般、印刷業務の合理化を計るため新しい機器が導入されました。そのため、本誌掲載の図・表については、初校印刷後は全く校正できません。したがって組版を除き従来行なわれてきた著者校正の段階での図・表の字句・数値の書き換えはもちろん、誤字の校正もできなくなります。したがって今後御投稿いただく論文については編集部による誤植以外訂正文の掲載もいたしません。また明瞭に記載され、様式の整った印刷、タイプまたはトレースされた、あるいは楷書、活字体で丁寧に書かれた図・表以外の誤植についても責任を負いかねます。したがって御投稿いただく前にもう1度念を入れて御投稿される図・表の様式、字句、数値などを、最新の本誌に掲載されている図・表の様式を参照されつつ御点検下さい。なお、文献についても、英文はタイプで、和文は少なくとも楷書でキチンと書いて下さい。